

マトリクススイッチャー設定ソフトウェア

Matrix Switcher Configurator

FDX-08 / FDX-16 / FDX-32 / FDX-64
FDX-12UHD / FDX-32UHD
FDX-S08 / FDX-S16 / FDX-S32 / FDX-S64
FDX-S08U / FDX-S16U / FDX-S32U / FDX-S64U

取扱説明書 Ver.1.2.0



メインパネル

設定 チャンネル プリセットメモリ FDX本体の設定 FDX本体のデータ メンテナンス ツール ヘルプ

入出力チャンネル

入力 1 入力1 出力 1 出力1

0:オフ 0:全出力

送信

クロスポイント

入出力設定状態

出力	Video	Audio	出力	Video	Audio
1	入力17	入力17	17	入力17	入力17
2	入力17	入力17	18	入力17	入力17
3	---	---	19	入力17	入力17
4	---	---	20	入力17	入力17
5	入力17	入力17	21	入力17	入力17
6	入力17	入力17	22	入力17	入力17
7	入力17	入力17	23	入力17	入力17
8	入力17	入力17	24	入力17	入力17
9	入力17	入力17	25	入力17	入力17
10	入力17	入力17	26	入力17	入力17
11	入力17	入力17	27	入力17	入力17
12	入力17	入力17	28	入力17	入力17
13	入力17	入力17	29	入力17	入力17
14	入力17	入力17	30	入力17	入力17
15	入力17	入力17	31	入力17	入力17
16	入力17	入力17	32	入力17	入力17

プリセットメモリ読出

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11

< >

商標について

- HDMI、High-Definition Multimedia Interface、および HDMI ロゴ は、米国およびその他の国における HDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または、登録商標です。
- Microsoft と Windows は、米国 Microsoft Corporation の、米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Microsoft® .NET は、お客様、情報、システムおよびデバイスを繋ぐソフトウェアです。
- 本書中の弊社で提供するソフトウェアは、Microsoft .NET Framework に基づくアプリケーションです。
- その他、記載されている会社名、製品名は、各社の登録商標または商標です。
なお、本文中において、®マークや™マークを省略している場合があります。

この取扱説明書をお読みいただく前に

- この取扱説明書の無断転載を禁じます。
- お客様がお持ちの製品のバージョンによっては、この取扱説明書に記載される画面構成やメニューなどが、一部異なる場合がありますのでご了承ください。
- 取扱説明書は改善のため、事前の予告なく変更することがあります。最新の取扱説明書は、弊社のホームページからダウンロードすることができます。

www.idk.co.jp

著作権について

本ソフトウェアの著作権は、株式会社アイ・ディ・ケイが保有します。お客様は、いかなる理由においても本ソフトウェアの改造や譲渡、販売および再配布はできません。

保証の範囲について

弊社から提供する設定ソフトウェアは、無償でご利用いただけます。ただし、これらの設定ソフトウェアには製品保証が付帯しません。また、設定ソフトウェアの更新・問い合わせの対応をしておらず、弊社都合により提供を停止することがあります。万一、問題が起きても弊社では一切の責任を負いかねます。

取扱説明書の読み方

この取扱説明書のページ構成を説明します。

- 操作をされる方は、1 章から 2 章をお読みください。
- 設定される方は、3 章をお読みください。

第 1, 2 章 : Matrix Switcher Configurator の概要と特長を説明します。

第 3, 4 章 : FDX Series の設定方法を説明します。

なお、この取扱説明書の本文中で記載する FDX Series の設定方法については、各 FDX Series と FDX-S Series 本体の「取扱説明書<ユーザーズガイド>」をご参照ください。

目次

1	Matrix Switcher Configurator とは	5
2	はじめに	6
2.1	準備するもの	6
2.1.1	パソコン環境 (対応 OS など)	6
2.2	本ソフトウェアをインストールする前に	7
2.3	本ソフトウェアのインストールとアンインストール	8
2.4	本ソフトウェアの起動と終了	10
2.5	本ソフトウェアと FDX Series の接続設定をする	11
3	メイン機能	13
3.1	画面構成	13
3.2	基本操作	15
3.2.1	映像・音声を切り換える	15
3.2.2	プリセットメモリを読み出す	16
3.2.3	クロスポイントを読み出す	17
3.2.4	クロスポイントを表示する	17
3.3	映像設定	18
3.3.1	入力設定をする	18
3.3.2	入力タイミングを設定する	19
3.3.3	出力設定をする	19
3.3.4	出力タイミングを設定する	20
3.3.5	ビットマップ設定をする	21
3.3.6	EDID を設定する	22
3.3.7	オーディオボード設定をする	23
3.4	プリセットメモリ設定	24
3.4.1	FDX Series にプリセットメモリを保存する	24
3.4.2	FDX Series に登録されたプリセットメモリを編集する	25
3.4.3	FDX-S Series にクロスポイントを保存する	26
3.4.4	FDX Series に登録されたクロスポイントを編集する	27
3.4.5	FDX-S Series に設定を保存する	28
3.5	FDX Series の基本設定	29
3.5.1	FDX Series の通信設定をする	29
3.5.2	FDX Series のキーロックを設定する	30
3.6	FDX Series のバックアップ / リストア	31
3.6.1	FDX Series の設定内容をパソコンにバックアップする	31
3.6.2	パソコンに保存したバックアップデータを FDX Series にリストアする	32
3.7	FDX Series のステータス状態の確認	35
3.7.1	FDX Series の電源をオン / オフする	35
3.7.2	FDX Series のステータスを表示する	36
4	本ソフトウェアの設定およびその他の設定	37
4.1	各種名称を設定する	37
4.2	メインパネル / メニューバー・ツールバーの表示項目を設定する	38
4.3	設定ファイルを共有する	39
4.4	本ソフトウェアで設定したメニューの値を初期化する	40
4.5	メニューの表示にパスワードを設ける	41
4.6	FDX-Series の設定内容を Excel ファイルに出力する	42
4.7	本ソフトウェアと FDX Series のバージョンを表示する	42

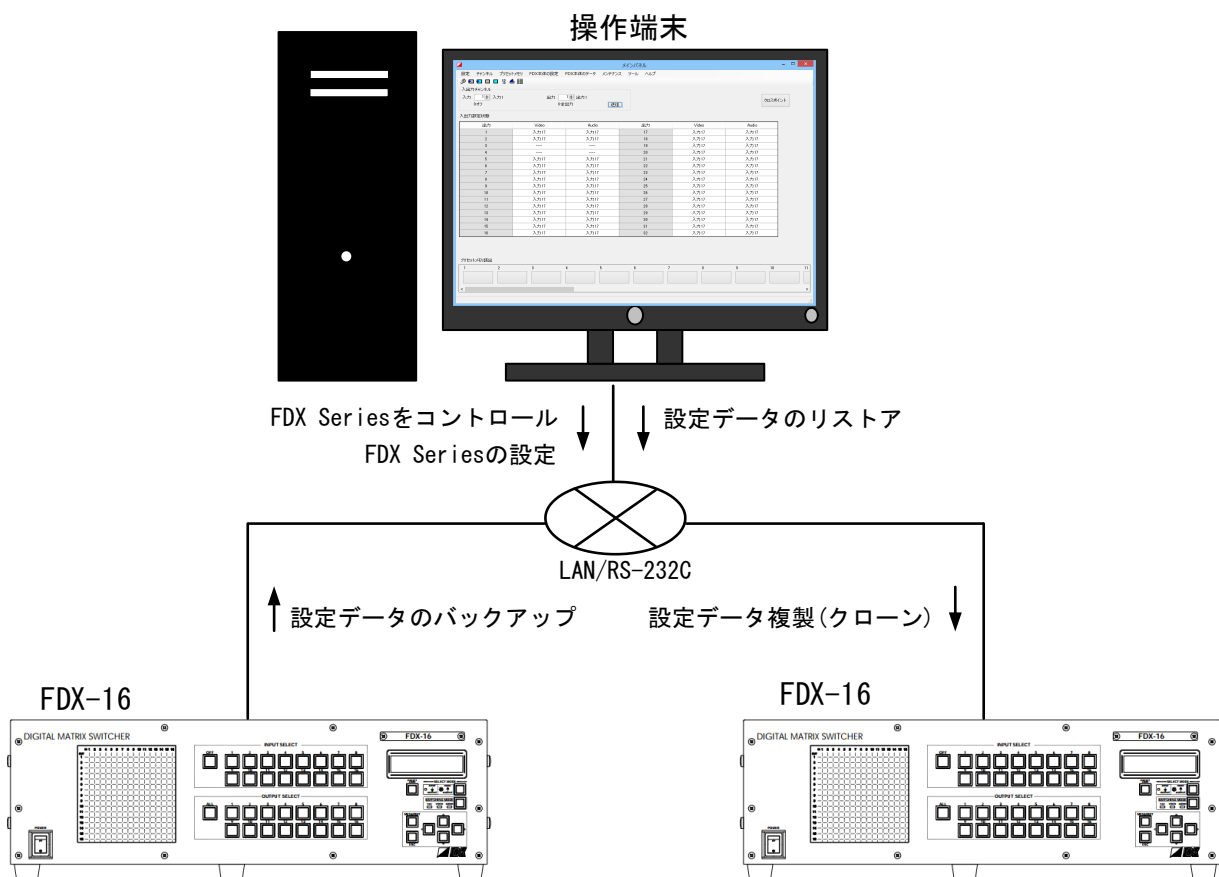
1 Matrix Switcher Configurator とは

Matrix Switcher Configurator (以下、「本ソフトウェア」とする) は、LAN 通信または RS-232C 通信を使って、パソコンから FDX-S Series を含む FDX Series を制御するためのソフトウェアです。

このソフトウェアの特長は次のとおりです。

- ・ 映像・音声の切り換えが可能
- ・ プリセットメモリの保存、読み込みが可能
- ・ FDX Series の設定をパソコンへバックアップが可能
- ・ 1 台の FDX Series で設定した内容を、複数台の FDX Series へコピーが可能

下図は、特長の詳細とシステムの構成例を示しています。



【図 1.1】 システム構成例 (FDX-16)

【注意】 コピー機能には、一部制限があります。

詳細は、3.6.2 パソコンに保存したバックアップデータを FDX Series にリストアする (P.32) をご参照ください。

2 はじめに

2.1 準備するもの

次のものを準備してください。

- ・ 本ソフトウェア
- ・ パソコン
- ・ FDX Series
- ・ LAN ケーブルまたは RS-232C ケーブル (クロスケーブル)

【参考】本ソフトウェアは、弊社ホームページよりダウンロードができます。

対象製品の詳細ページをご覧ください。

www.idk.co.jp/products

2.1.1 パソコン環境 (対応 OS など)

本ソフトウェアを実行するためのパソコンの動作環境は次のとおりです。

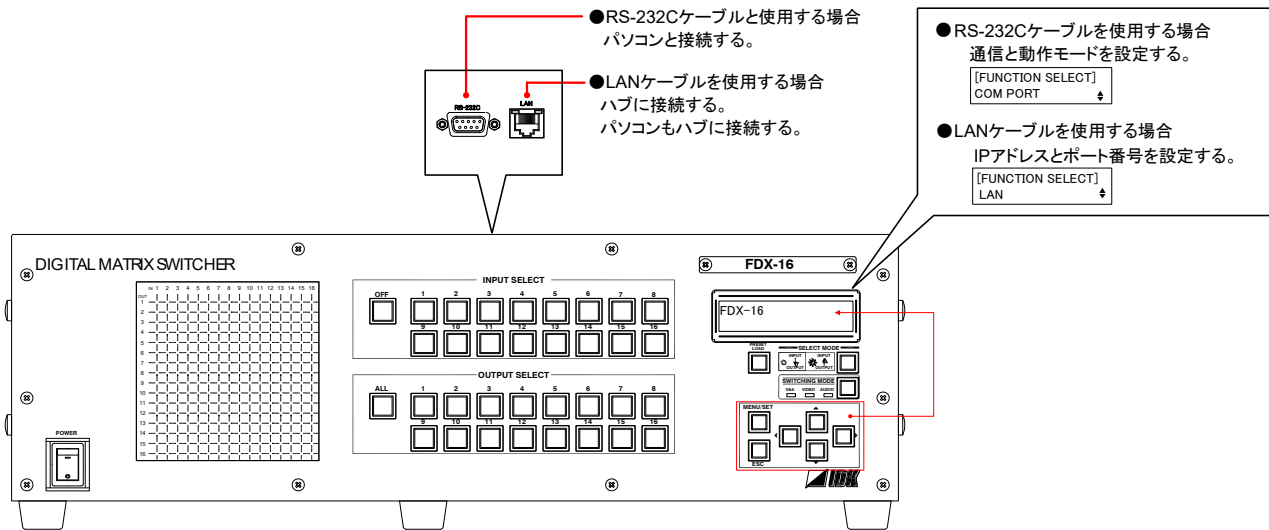
【表 2.1】動作環境

OS	Windows 11、Windows 10 (64 ビット版)
CPU	1 GHz 以上
ハードディスク	500 MB 以上
メモリ	500 MB 以上
ディスプレイ解像度	XGA (1024x768) 以上
Microsoft .NET Framework	4.8

【参考】Microsoft .NET Framework は、日本マイクロソフト株式会社のサポートページをご覧ください。

2.2 本ソフトウェアをインストールする前に

FDX Series、パソコンおよびシンク機器を接続し、各機器の電源を挿入してください。
次に、FDX Series で使用する通信 (LAN または RS-232C) の設定をしてください。



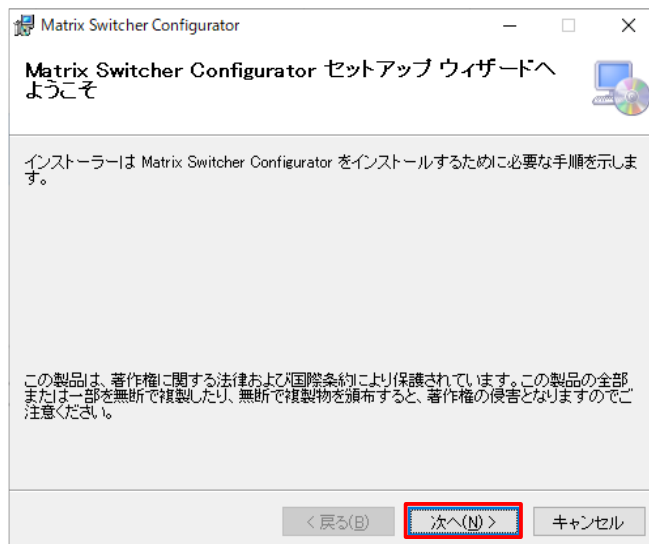
[図 2.1] 通信ケーブルの接続と設定

2.3 本ソフトウェアのインストールとアンインストール

■ 本ソフトウェアのインストール

ダウンロードファイル内の“MatrixSwitcherConfigurator_vxxx※Jp.msi”を実行し、パソコンに本ソフトウェアをインストールしてください。（※xxx = 数値 3 桁で表されるソフトウェアバージョン）

【参照：2.1 準備するもの (P.6)】



[図 2.2] [セットアップ ウィザードへようこそ]

■ 本ソフトウェアのアンインストール

本ソフトウェアをアンインストールするときは、[コントロールパネル] の [プログラムと機能] から “Matrix Switcher Configurator” を選択し、実行してください。



[図 2.3] [プログラムと機能]

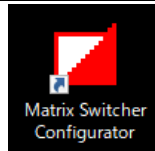


-
- 【注意】
- ・ 実行するときは、管理者権限のあるアカウントで行ってください。
 - ・ “すべてのユーザー” でインストールした場合は、各ユーザーで本ソフトウェアを初回起動するまで、“MatrixSwitcherConfiguratorVvvvJp.msi” の移動や削除をしないでください。
-

2.4 本ソフトウェアの起動と終了

パソコンのスタートメニューから“Matrix Switcher Configurator”を選択するか、デスクトップ上の“Matrix Switcher Configurator”ショートカットアイコンを実行し、接続設定をしてから本ソフトウェアを起動します。

本ソフトウェアを終了するときには、[設定] メニューの [終了] を選択してください。

[表 2.2] 本ソフトウェアの起動方法

	手順	画像
1	Matrix Switcher Configurator のショートカットアイコンをダブルクリックします。	
2	<p>[接続設定] ダイアログボックスが表示されますので、通信設定を行ってください。</p> <p>【参照：2.5 本ソフトウェアと FDX Series の接続設定をする (P.11)】</p> <p>※ FDX Series の IP アドレス初期設定は、192.168.1.199 です。</p>	
3	<p>接続が完了すると、メインパネルが表示されます。</p> <p>エラー時は、画面下部にエラーメッセージが表示されます。</p>	

【参考】はじめて本ソフトウェアを起動させたとき、[接続設定] ダイアログボックスが表示されます。

【参照：2.5 本ソフトウェアと FDX Series の接続設定をする (P.11)】

【注意】FDX Series と通信できない場合、本ソフトウェアの下部にエラーメッセージが表示されます。

2.5 本ソフトウェアと FDX Series の接続設定をする

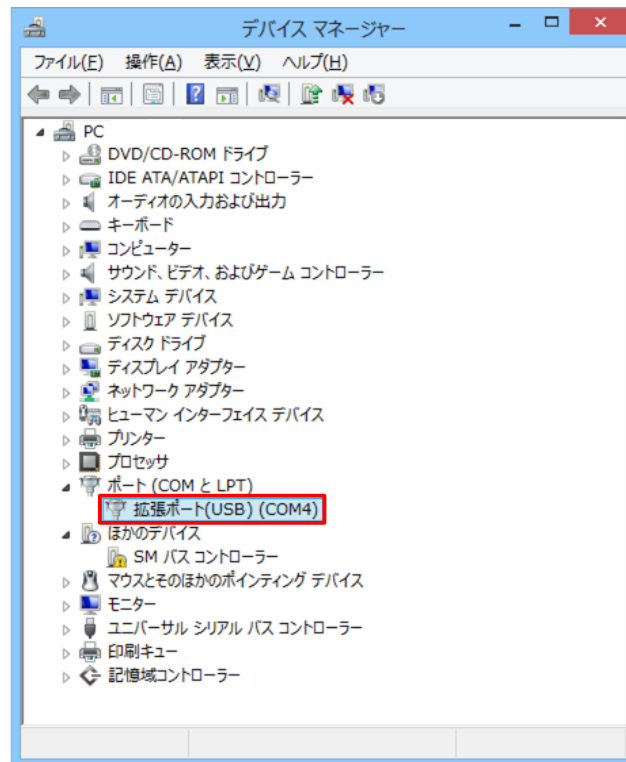
[設定] メニューの [接続設定] から、FDX Series と本ソフトウェアの接続設定をしてください。

The image displays two side-by-side screenshots of the '接続設定' (Connection Settings) dialog box. The left screenshot shows the 'LAN' tab selected, with the IP address fields set to 192, 168, 1, 199 and the port number set to 1100. The right screenshot shows the 'RS-232C' tab selected, with the port number set to COM1, the baud rate set to 9600, data bits set to 8, parity set to none, and stop bits set to 1. Both screenshots have red boxes highlighting the selected tab and its respective settings.

※IP アドレスの初期設定は 192.168.1.199 です。

[図 2.4] LAN 通信 (左) と RS-232C 通信 (右) を使った接続設定

【参考】RS-232C 通信設定のポート番号は、[コントロールパネル] の [デバイスマネージャー] から [ポート]を選択し、ポート番号を確認してから設定してください。

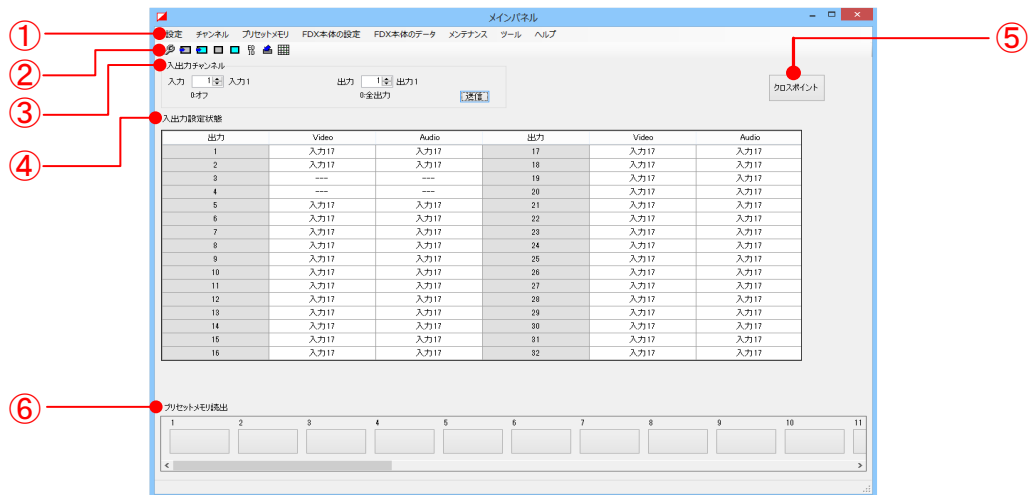


【図 2.5】 [デバイスマネージャー]

3 メイン機能

3.1 画面構成

次の図は、メインパネル構成です。



【図 3.1】 画面構成

【表 3.1】 各画面説明

番号	名前	説明
①	メニューバー	映像の出力設定、プリセットメモリの登録などをするメニューです。
②	ツールバー	メニューの簡易呼出用アイコンです。
③	入出力チャンネル	映像 / 音声を切り換えます。
④	入出力設定状態	現在の入出力状態を表示します。
⑤	クロスポイント	現在の入出力状態をクロスポイント表示します。 【参照：3.2.4 クロスポイントを表示する (P.17)】
⑥	プリセットメモリ読出	登録されたプリセットメモリを読み出します。

[表 3.2] メニューバーについて

メニュー			説明	参照 ページ	
設定			接続設定	本ソフトウェアと FDX Series の接続設定をします。	11
			終了	本ソフトウェアを終了します。	10
チャンネル	入力		入力設定	映像入力の入力設定を設定します。	18
			入力タイミング	映像入力の入力タイミングを設定します。	19
	出力		出力設定	映像出力の出力設定を設定します。	19
			出力タイミング	映像出力の出力タイミングを設定します。	20
			ビットマップ設定	映像出力のビットマップを設定します。	21
			オーディオボード設定	オーディオボード設定を設定します。	23
			EDID	EDID の確認と設定をします。	22
プリセット メモリ		保存 (クロスポイントの保存)	クロスポイントを FDX Series のメモリに保存します。	26 ^{*1} 24 ^{*2}	
		編集 (クロスポイントの編集)	保存したクロスポイントを編集します。	27 ^{*1} 25 ^{*2}	
		設定の保存	設定を FDX Series のメモリに保存します。	28	
FDX 本体の 設定		通信設定	FDX Series の通信設定をします。	29	
		キーロック	FDX Series のキーロックを設定します。	30	
FDX 本体の データ		バックアップ	FDX Series の設定内容をパソコンにファイルとして、バックアップします。	31	
		リストア	パソコンにバックアップしたファイルを FDX Series にリストアします。	32	
		エクスポート	FDX-Series の設定内容を Excel ファイルに出力します。	42	
メンテナンス		フロント電源 キー	FDX Series の電源をオン / オフします。(FDX-32 / 64 のみ対応)	35	
		ステータス	入力信号、モニタ、入出力スロットボード、音声ボード、冷却ファンおよび電源のステータスを取得します。	36	
ツール		ボタン設定	メインパネルのタイトル名、[プリセットメモリ読出] ボタンの表示と名前を設定します。	37	
		オプション設定	メインパネルの表示項目、メニューバー・ツールバーの表示項目を設定します。	38	
		設定ファイルの共有	本ソフトウェアの設定ファイルを保存 / 読み込みします。	39	
		設定ファイルの初期化	本ソフトウェアの設定ファイルを初期化します。	40	
		パスワード設定	本ソフトウェアの一部のメニューに認証機能をもたせます。	41	
ヘルプ		バージョン情報	ソフトウェアバージョンと、FDX Series のファームウェアバージョンを表示します。	42	

※1 FDX-S Series の場合

※2 FDX-S Series 以外の場合

3.2 基本操作

基本操作では、入出力チャンネルの切り換え方法と、プリセットメモリの読み出し方法について説明します。

3.2.1 映像・音声を切り換える

メインパネルの [入出力チャンネル] から、[入力] チャンネルを [出力] チャンネルに割り当て、[送信] ボタンを選択することで映像と音声を切り換えます。

入力チャンネルをすべての出力チャンネルに割り当てる場合は、[出力] に“0”を選択してください。

入力チャンネルを“オフ”にする場合は、[入力] に“0”を選択してください。

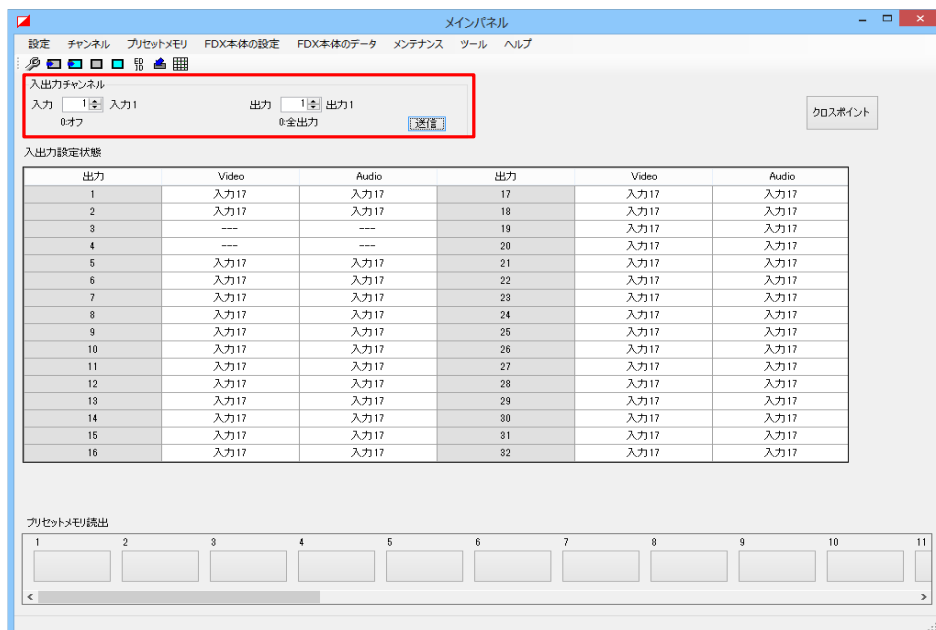
設定例

説明	入力	出力	画像
入力 2 の映像を出力 5 から出力します。	2	5	入力 <input type="text" value="2"/> 入力2 0オフ 出力 <input type="text" value="5"/> 出力5 0全出力 <input type="button" value="送信"/>
入力 3 の映像をすべての出力チャンネルから出力します。	3	0	入力 <input type="text" value="3"/> 入力3 0オフ 出力 <input type="text" value="0"/> 全出力 0全出力 <input type="button" value="送信"/>
出力 7 から出力される映像をオフにします。	0	7	入力 <input type="text" value="0"/> オフ 0オフ 出力 <input type="text" value="7"/> 出力7 0全出力 <input type="button" value="送信"/>

なお、FDX Series は、映像と音声で連動で切り換わります。

映像と音声を非連動に設定する場合は、[オプション設定] の“スイッチングモード”にチェックを入れてから、本設定を操作してください。ただし、FDX-S Series は非連動に設定することはできません。

【参照：4.2 メインパネル / メニューバー・ツールバーの表示項目を設定する (P.38)】



[図 3.2] 映像と音声を切り換え

3.2.2 プリセットメモリを読み出す

プリセットメモリに登録されている設定内容を読み出します。

設定内容を読み出すには、[プリセットメモリ読出] から、任意の [番号] ボタンを選択してください。

なお、プリセットメモリを事前に登録していない場合、設定内容を読み出すことはできません。

【参照：3.4.1 FDX Series にプリセットメモリを保存する (P.24)】

【参照：3.4.5 FDX-S Series に設定を保存する (P.28)】



【図 3.3】 プリセットメモリの読み出し

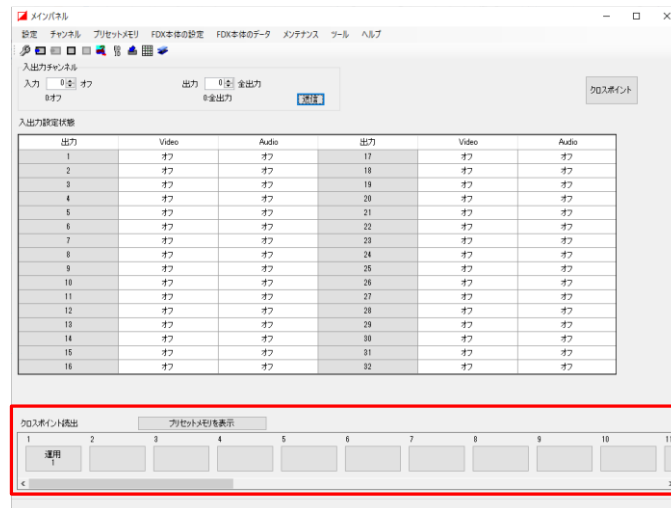
3.2.3 クロスポイントを読み出す

プリセットメモリに登録されている入出力設定の設定内容を読み出します。

設定内容を読み出すには、[クロスポイント読出] から、任意の [番号] ボタンを選択してください。

なお、クロスポイントを事前に保存していない場合、設定内容を読み出すことはできません。

【参照：3.4.5 FDX-S Series に設定を保存する (P.28)】



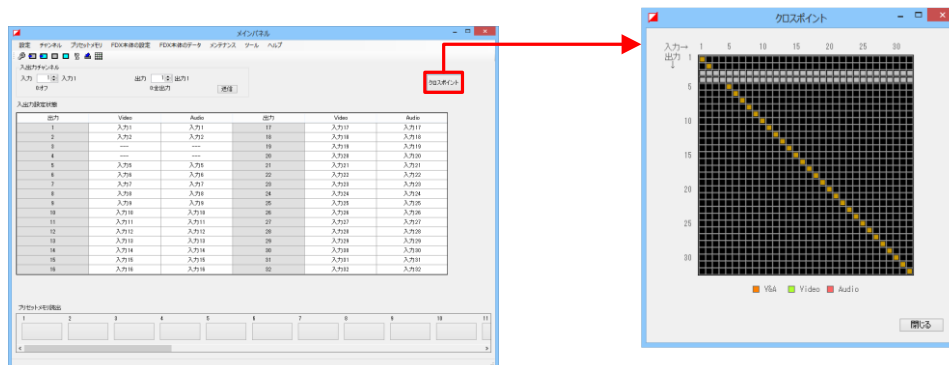
[図 3.4] クロスポイントの読み出し

【注意】クロスポイント読出は、FDX-S Series のみ操作できます。

3.2.4 クロスポイントを表示する

現在の入出力状態をクロスポイント表示します。

クロスポイントを表示するには [クロスポイント] ボタンを選択します。



[図 3.5] [クロスポイント] ダイアログボックス

3.3 映像設定

映像入出力と EDID の設定をします。

映像設定に関連する FDX Series のメニュー項目は、以下のとおりです。

3.3.1 入力設定をする

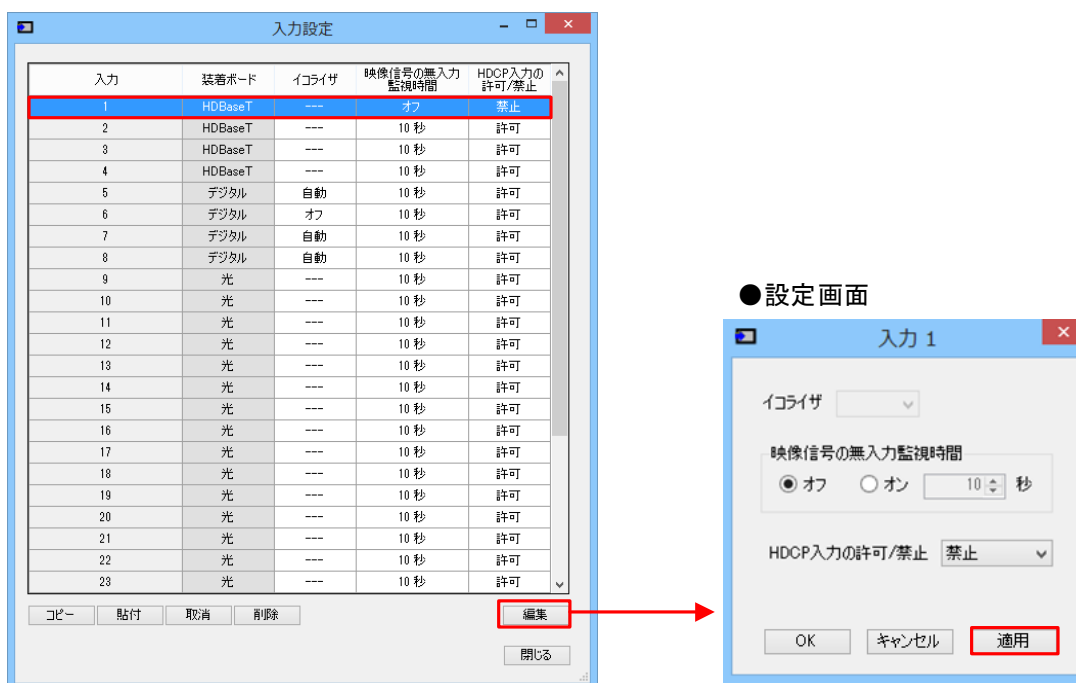
メニュー [チャンネル] メニュー → [入力] → [入力設定]

設定内容 映像入力の入力設定をします。

編集する入力チャンネルの行を選択し、[編集] ボタンから [入力] ダイアログボックスを表示します。このダイアログボックスから、入力映像の設定条件を指定し、[適用] ボタンで確定します。

設定内容は、[適用] ボタンを選択したときに反映されます。

●入力設定



[図 3.6] [入力設定] ダイアログボックス

3.3.2 入力タイミングを設定する

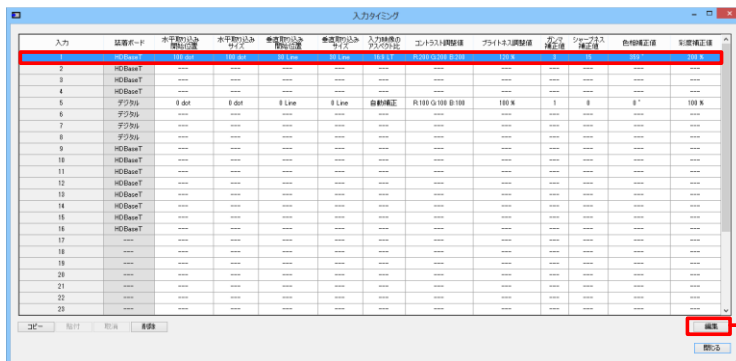
メニュー [チャンネル] メニュー → [入力] → [入力タイミング]

設定内容 映像入力の入力タイミングを設定します。

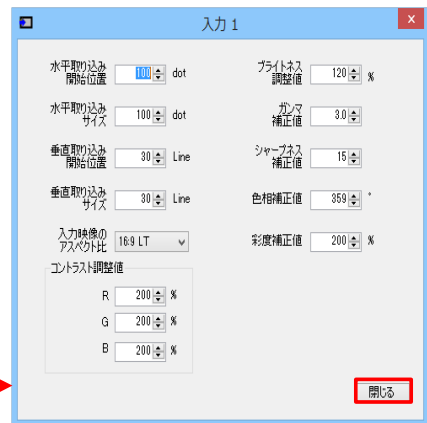
編集する入力チャンネルの行を選択し、[編集] ボタンから [入力] ダイアログボックスを表示します。このダイアログボックスから、入力映像のタイミングを指定します。

設定内容は、値の設定時に自動的に反映されます。

●入力タイミング



●設定画面



[図 3.7] [入力タイミング] ダイアログボックス

3.3.3 出力設定をする

メニュー [チャンネル] メニュー → [出力] → [出力設定]

設定内容 映像出力の出力設定をします。

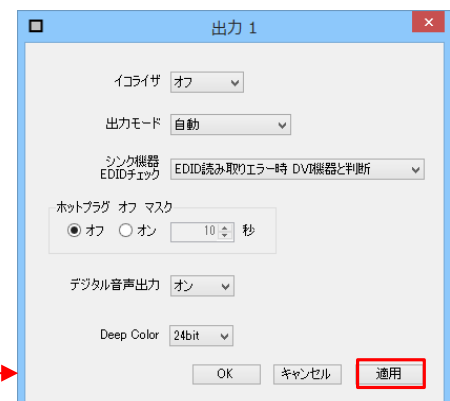
編集する出力チャンネルの行を選択し、[編集] ボタンから [出力] ダイアログボックスを表示します。このダイアログボックスから、出力映像の設定条件を指定し、[適用] ボタンで確定します。

設定内容は、[適用] ボタンを選択したときに反映されます。

●出力設定



●設定画面



[図 3.8] [出力設定] ダイアログボックス

3.3.4 出力タイミングを設定する

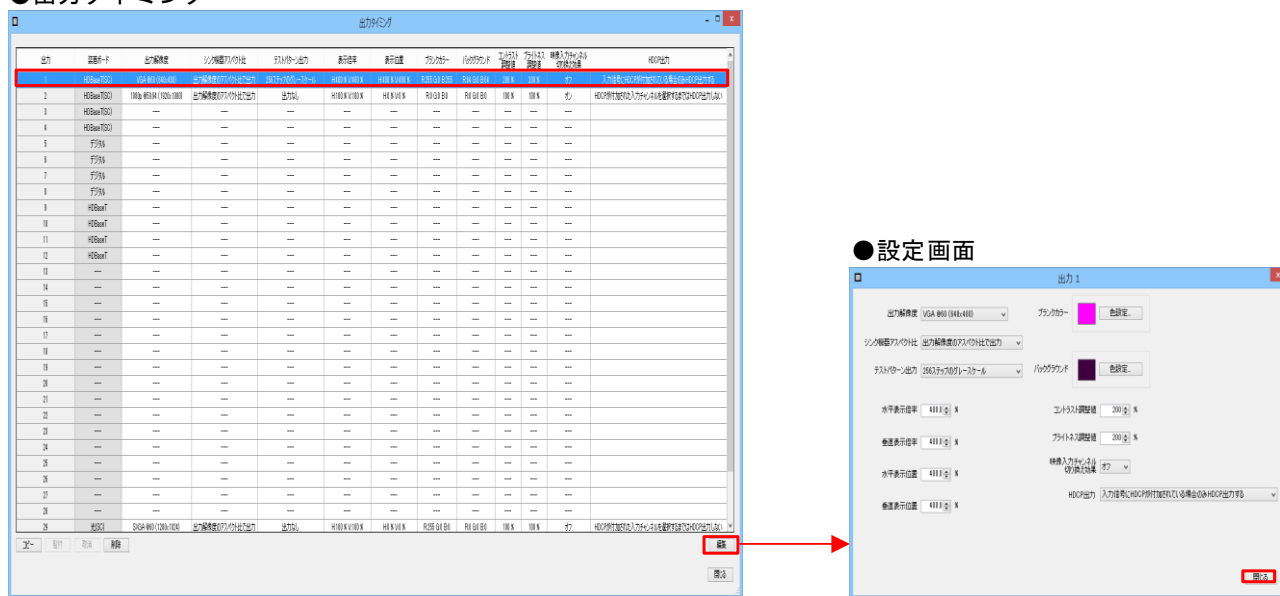
メニュー [チャンネル] メニュー → [出力] → [出力タイミング]

設定内容 映像出力の出力タイミングを設定します。

編集する出力チャンネルの行を選択し、[編集] ボタンから [出力] ダイアログボックスを表示します。このダイアログボックスから、出力映像のタイミングを指定します。

設定内容は、値の設定時に自動的に反映されます。

●出力タイミング



[図 3.9] [出力タイミング] ダイアログボックス

3.3.5 ビットマップ設定をする

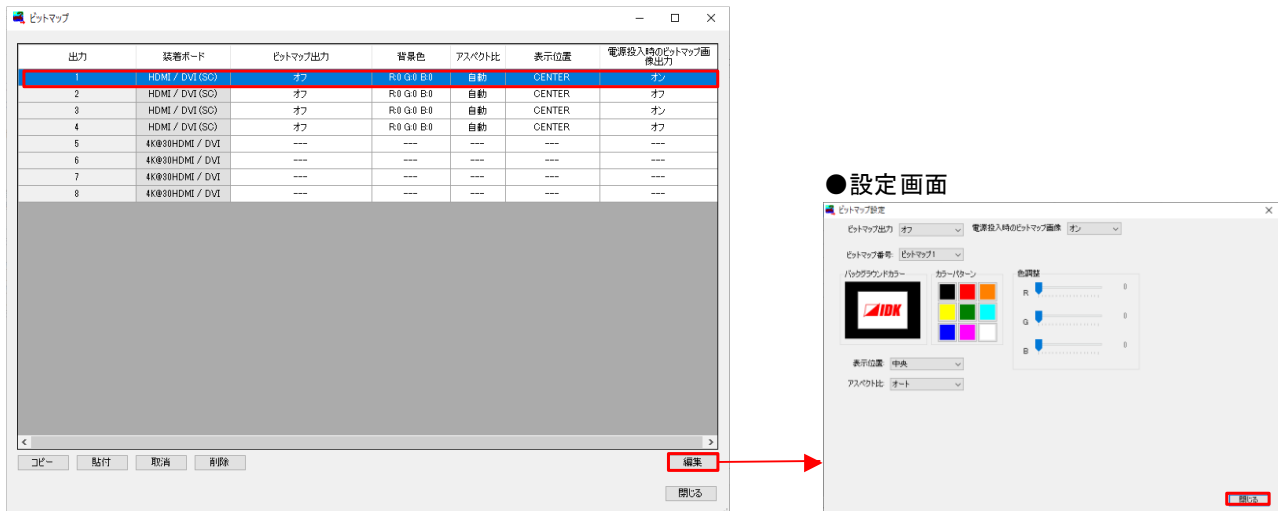
メニュー [チャンネル] メニュー → [出力] → [ビットマップ]

設定内容 ビットマップ設定をします。

編集する出力チャンネルの行を選択し、[編集] ボタンから [ビットマップ設定] ダイアログボックスを表示します。このダイアログボックスから、ビットマップの設定条件を指定します。

設定内容は、値の設定時に自動的に反映されます。

●ビットマップ設定



[図 3.10] [ビットマップ設定] ダイアログボックス

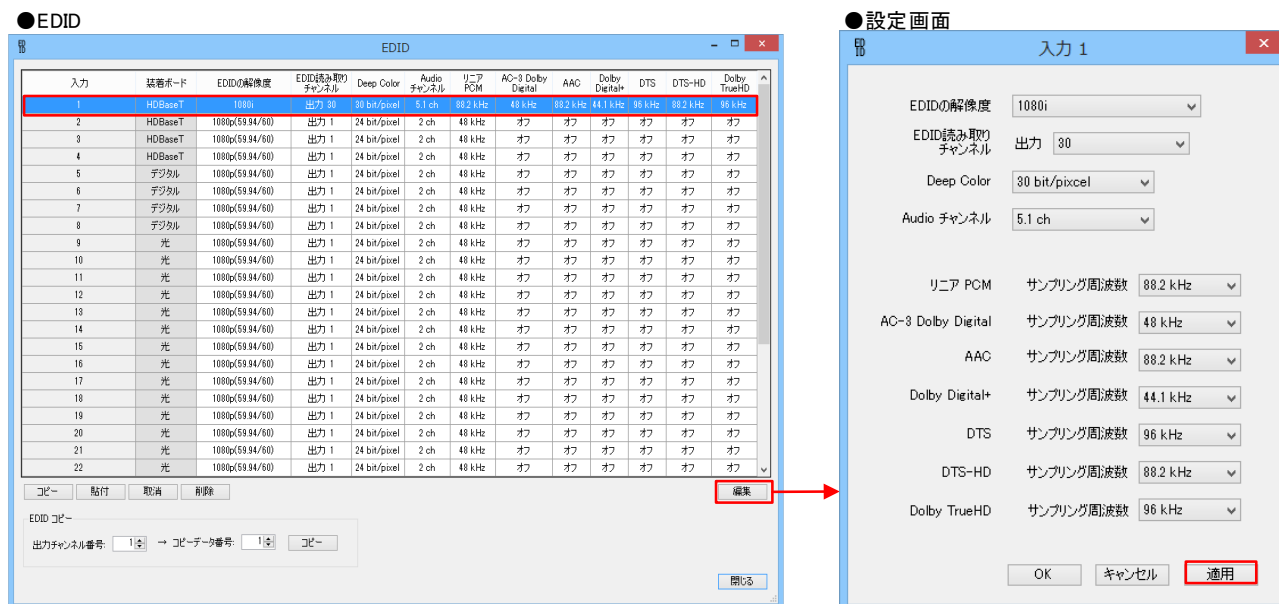
【注意】ビットマップ設定は、FDX-S Series のみ操作できます。

3.3.6 EDID を設定する

メニュー [チャンネル] メニュー → [EDID]

設定内容 FDX Series に接続されたソース機器に送信する EDID を設定します。

ソース機器の接続された入力チャンネルの行を選択し、[編集] ボタンから [入力] ダイアログボックスを表示します。このダイアログボックスから、EDID 情報を選択し、[適用] ボタンで確定します。設定内容は、[適用] ボタンを選択したときに反映されます。



[図 3.11] [EDID] ダイアログボックス

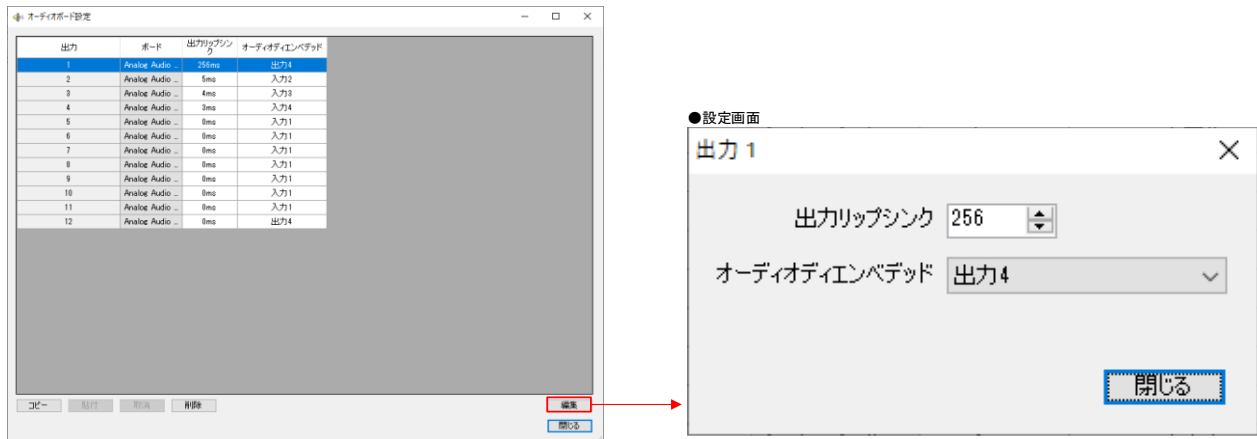
3.3.7 オーディオボード設定をする

メニュー [チャンネル] メニュー → [出力] → [オーディオボード設定]

設定内容 FDX Series に装着されたオーディオボードから出力する音声、映像の動きと音声の時間ズレ調整を設定します。

音声出力チャンネルの行を選択し、[編集] ボタンから [出力] ダイアログボックスを表示します。このダイアログボックスから、オーディオボード設定を指定します。設定内容は、値の設定時に自動的に反映されます。

●オーディオボード設定



[図 3.12] [オーディオボード設定] ダイアログボックス

3.4 プリセットメモリ設定

プリセットメモリは、ユーザーが任意のタイミングで現在の設定を保存しておくことができるメモリです。保存される設定内容は、クロスポイントやスキャンコンバータ出力スロットボードに関連する一部のメニューに限られます。

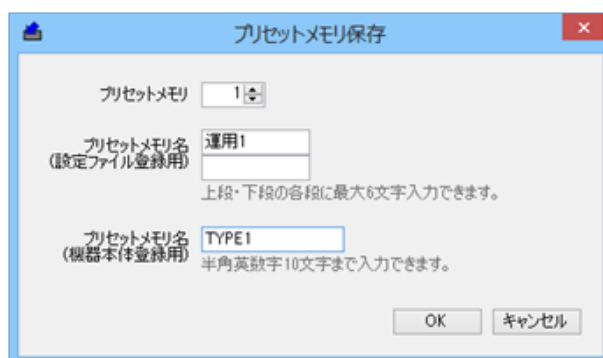
プリセットメモリの保存方法と、編集方法について説明します。

【注意】 スキャンコンバータ出力スロットボードが装着されていない場合、プリセットメモリにはクロスポイント以外の情報は保存されません。

3.4.1 FDX Series にプリセットメモリを保存する

メニュー [プリセットメモリ] メニュー → [保存]

設定内容 現在の設定を、FDX Series に内蔵されるプリセットメモリへ保存します。



【図 3.13】 [プリセットメモリ保存] ダイアログボックス

【注意】 プリセットメモリの保存は、FDX-S Series では操作できません。

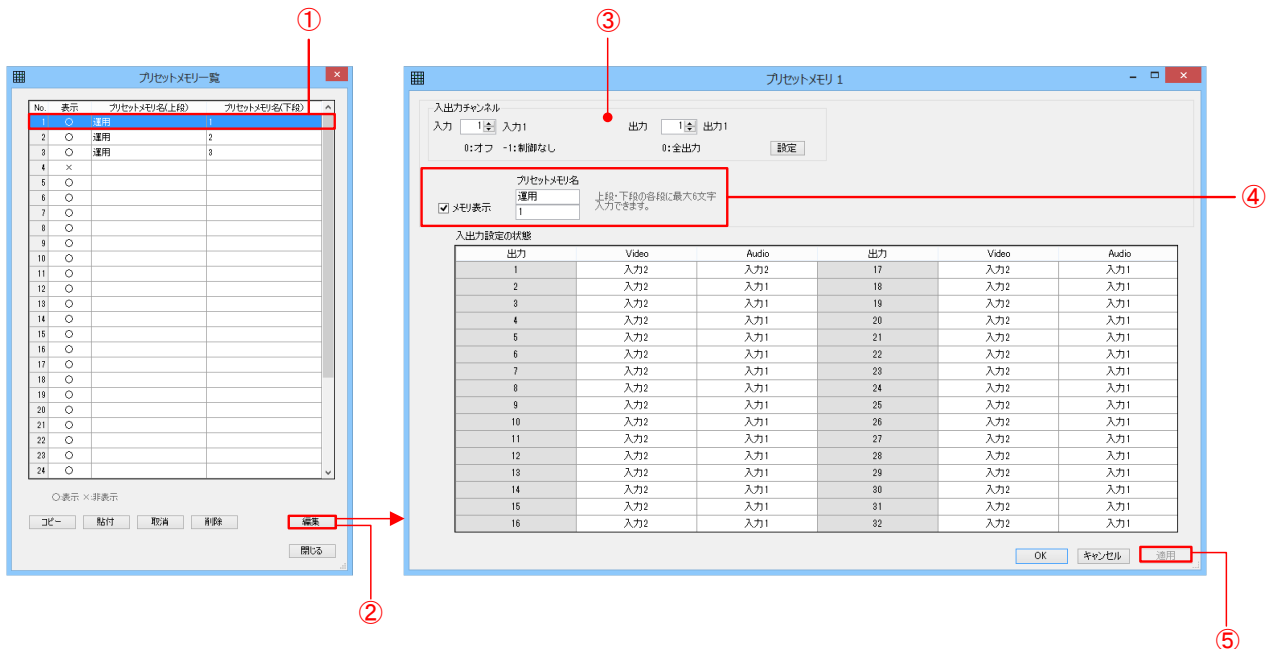
3.4.2 FDX Series に登録されたプリセットメモリを編集する

メニュー [プリセットメモリ] メニュー → [編集]

設定内容 プリセットメモリの登録 / 編集をします。

[編集手順]

- ① 登録 / 編集するメモリ番号を選択します。
- ② [編集] ボタンを選択します。
(登録内容を別のメモリにコピーすることもできます。この場合、コピーするメモリを選択し、[コピー] ボタンを選択します。その後、コピー先メモリを選択し、[貼付] ボタンを選択してください。)
- ③ 設定するクロスポイントを設定します。
- ④ プリセットメモリ名を記載します。(本ソフトウェア内で使用するプリセットメモリ名です。)
- ⑤ 設定完了後、[適用] ボタンを選択します。



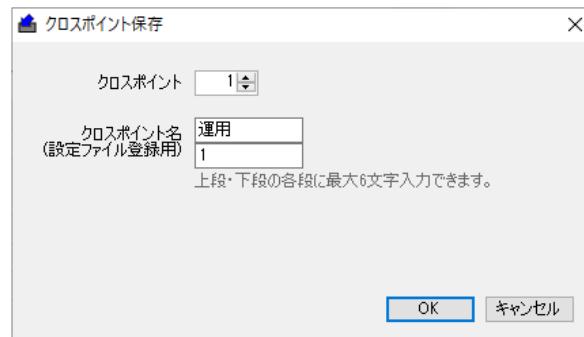
【図 3.14】[プリセットメモリ] ダイアログボックス

【注意】プリセットメモリの編集は、FDX-S Series では操作できません。

3.4.3 FDX-S Series にクロスポイントを保存する

メニュー [プリセットメモリ] メニュー → [クロスポイント保存]

設定内容 現在の入出力設定を、FDX Series に内蔵されるプリセットメモリへ保存します。



[図 3.15] [クロスポイント保存] ダイアログボックス

【注意】クロスポイントの保存は、FDX-S Series のみ操作できます。

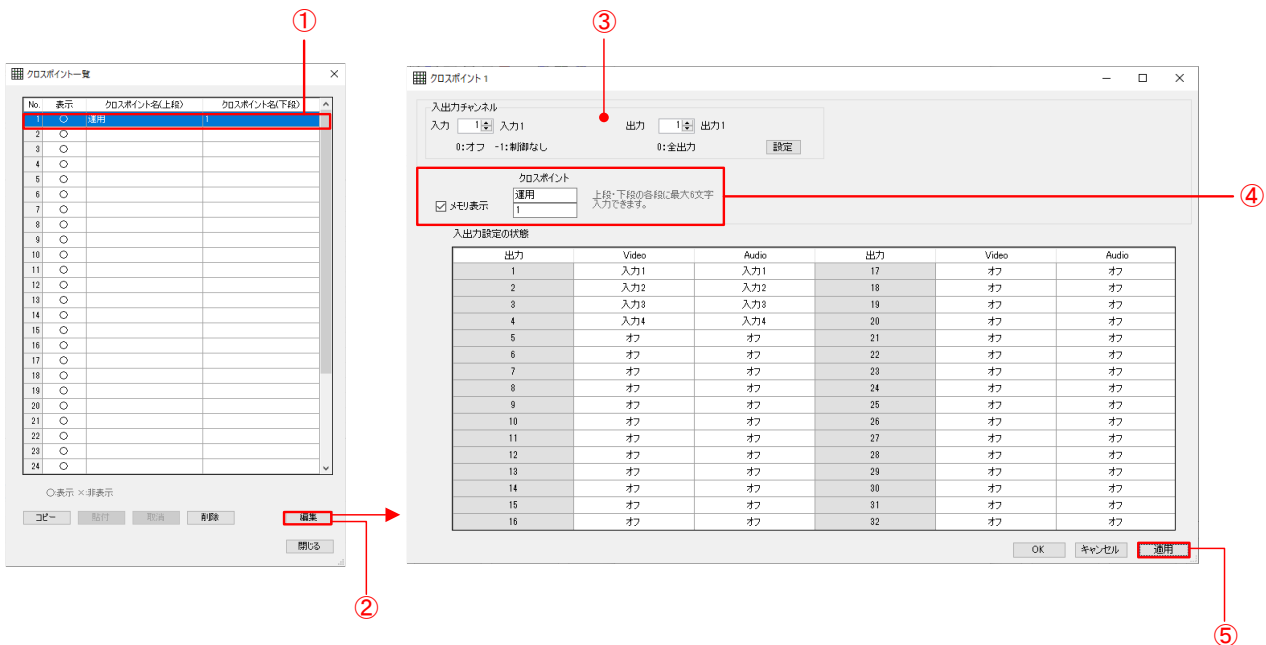
3.4.4 FDX Series に登録されたクロスポイントを編集する

メニュー [プリセットメモリ] メニュー → [クロスポイントの編集]

設定内容 プリセットメモリ内のクロスポイントの登録 / 編集をします。

[編集手順]

- ① 登録 / 編集するメモリ番号を選択します。
- ② [編集] ボタンを選択します。
(登録内容を別のメモリにコピーすることもできます。この場合、コピーするメモリを選択し、[コピー] ボタンを選択します。その後、コピー先メモリを選択し、[貼付] ボタンを選択してください。)
- ③ 設定するクロスポイントを設定します。
- ④ クロスポイント名を記載します。
(本ソフトウェア内で使用するクロスポイント名です。)
- ⑤ 設定完了後、[適用] ボタンを選択します。



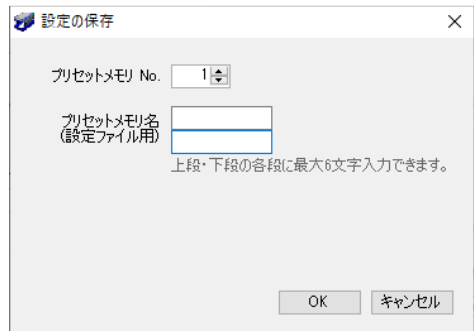
【図 3.16】 [クロスポイント] ダイアログボックス

【注意】 クロスポイントの編集は、FDX-S Series のみ操作できます。

3.4.5 FDX-S Series に設定を保存する

メニュー [プリセットメモリ] メニュー → [設定の保存]

設定内容 現在の設定を、FDX Series に内蔵されるプリセットメモリへ保存します。



[図 3.17] [設定の保存] ダイアログボックス

[表 3.3] プリセットメモリに保存される設定内容

設定内容
<ul style="list-style-type: none">・ 入力チャンネルの選択・ 出力解像度・ 表示位置・ 表示サイズ・ テストパターン・ ビデオウォール構成・ ビデオウォール位置・ フレーム遅延・ 同期モード設定・ 映像同期処理・ 出力ブライトネス・ 出力コントラスト・ 出力ガンマ

【注意】 ビデオウォール構成、ビデオウォール位置、フレーム遅延、同期モード設定および映像同期処理は、本ソフトウェアでは設定できません。

【注意】 設定の保存は、FDX-S Series のみ操作できます。

3.5 FDX Series の基本設定

FDX Series の設定をします。

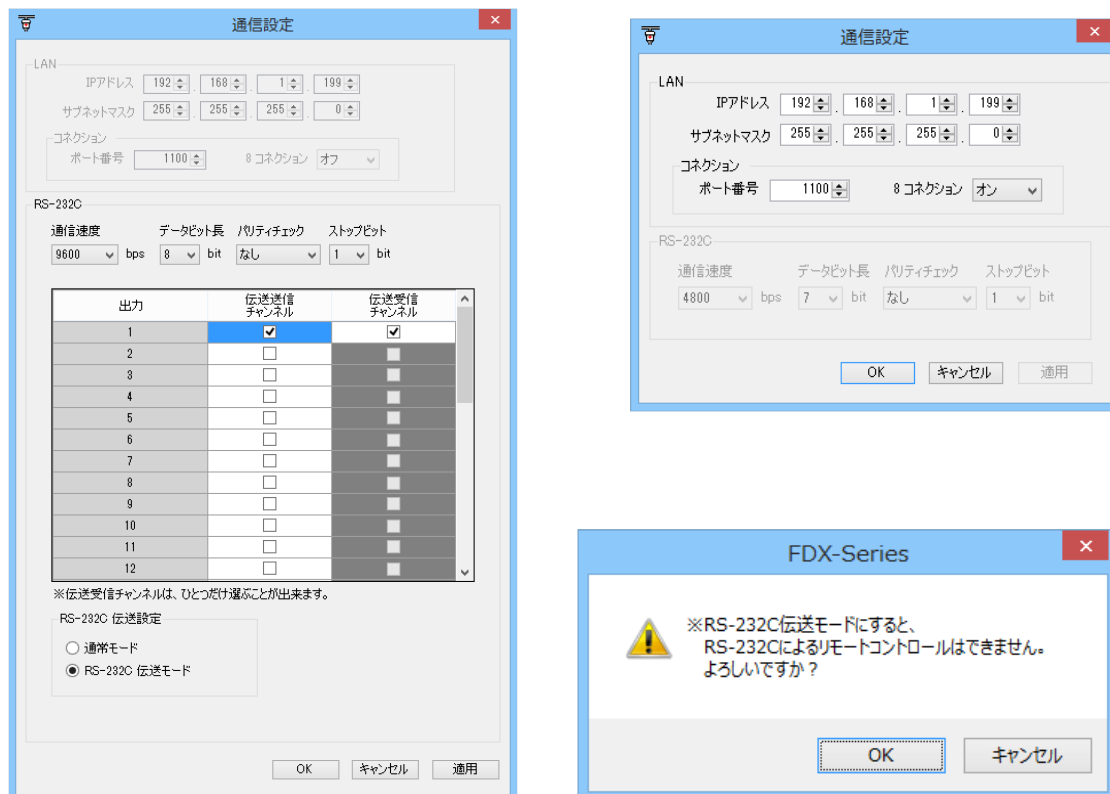
FDX Series の設定に関連する FDX Series のメニュー項目は、以下のとおりです。

3.5.1 FDX Series の通信設定をする

メニュー [FDX 本体の設定] メニュー → [通信設定]

設定内容 FDX Series の通信設定をします。

設定内容は、[適用] ボタンを選択したときに反映されます。



[図 3.18] [通信設定] ダイアログボックス
(左：RS-232C 通信、右上：LAN 通信、右下：確認メッセージ)

【注意】 接続設定の接続方法で LAN を選択している場合は、LAN 設定の変更はできません。また、接続方法で RS-232C を選択している場合は、RS-232C 設定の変更はできません。
接続設定については、**2.5 本ソフトウェアと FDX Series の接続設定をする (P.11)** をご確認ください。

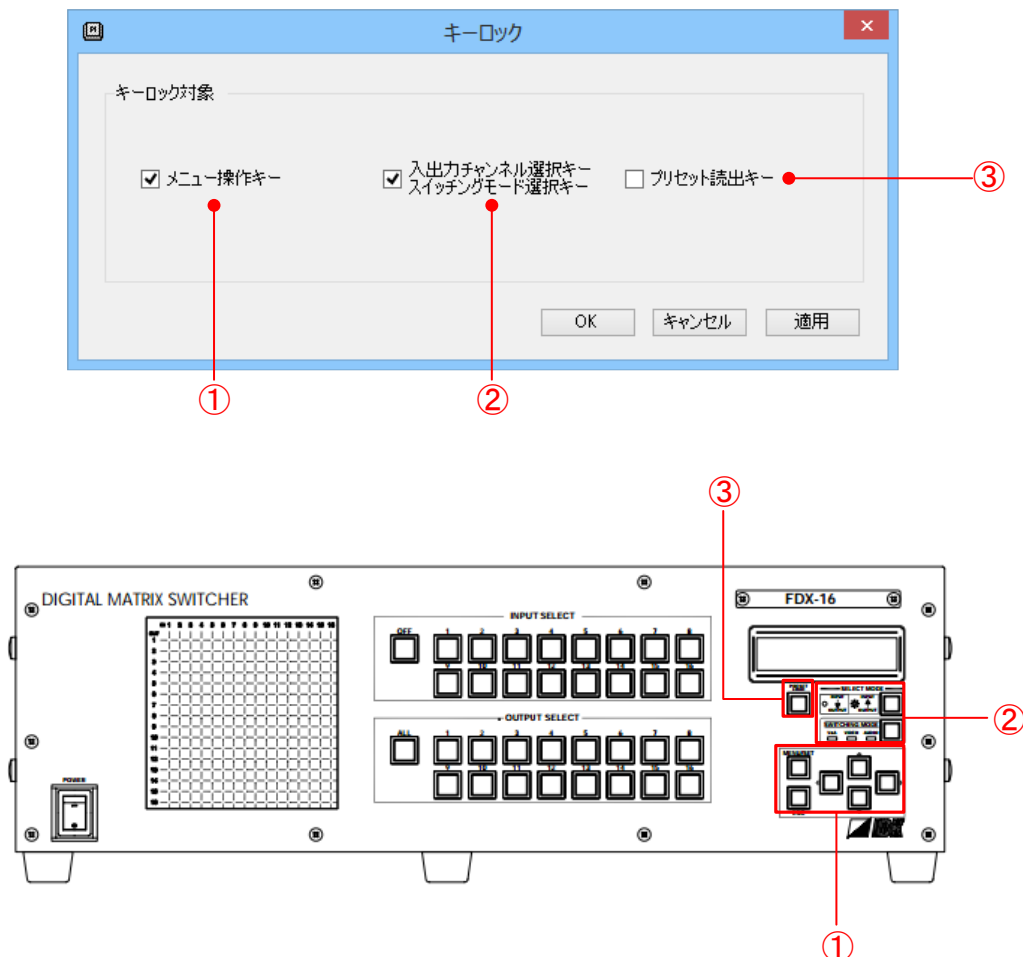
【注意】 RS-232C 伝送設定で「RS-232C 伝送モード」を選択すると確認メッセージが表示されます。
RS-232C 伝送設定で「RS-232C 伝送モード」に設定した場合は、FDX Series に対して RS-232C 通信でのリモートコントロールはできません。RS-232C 通信でリモートコントロールを行う場合は、「通常モード」に設定してください。

3.5.2 FDX Series のキーロックを設定する

メニュー [FDX 本体の設定] メニュー → [キーロック]

設定内容 キーロックする項目を選択し、設定します。

設定内容は、[適用] ボタンを選択したときに反映されます。



[図 3.19] [キーロック] ダイアログボックスと対応する FDX Series のキー

3.6 FDX Series のバックアップ / リストア

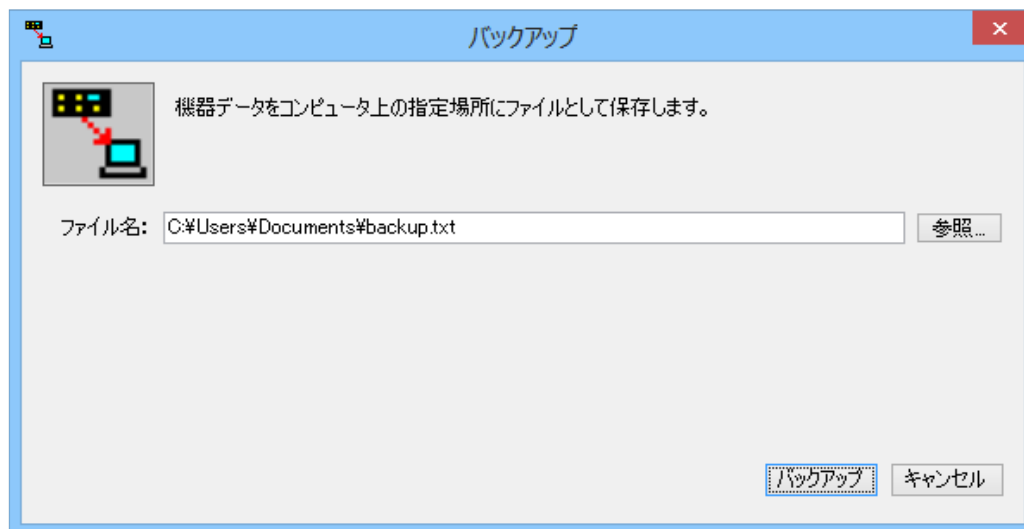
FDX Series の設定内容を、パソコンにファイルとしてバックアップすることができます。
バックアップしたデータは、複数の同製品にリストアすることができます。

3.6.1 FDX Series の設定内容をパソコンにバックアップする

メニュー [FDX 本体のデータ] メニュー → [バックアップ]

取得内容 FDX Series の設定内容をファイルにバックアップします。

バックアップは、[バックアップ] ボタンを選択したときに実行されます。



[図 3.20] [バックアップ] ダイアログボックス

【参考】 バックアップファイルはテキストファイルで保存されます。

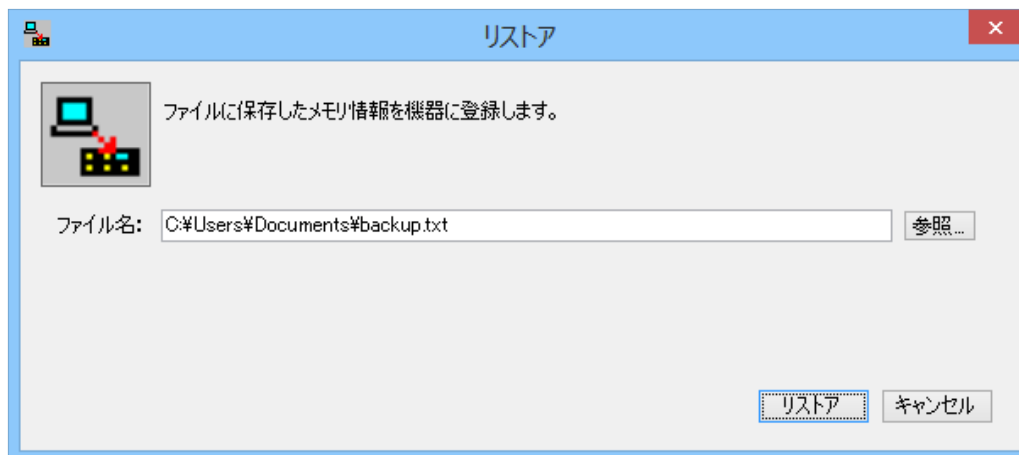
3.6.2 パソコンに保存したバックアップデータを FDX Series にリストアする

メニュー [FDX 本体のデータ] メニュー → [リストア]

設定内容 パソコンにバックアップしたファイルを FDX Series にリストアします。

リストアは、[リストア] ボタンを選択したときに実行されます。

FDX Series のバックアップとリストアの製品互換は製品ごとにそれぞれ異なるので、以下に示す製品互換表を確認してください。



【図 3.21】[リストア] ダイアログボックス

【表 3.4】バックアップとリストアの製品互換表 (バックアップ対象 : FDX-08)

リストア対象		FDX-08		FDX-16			FDX-32		
		ファームウェア バージョン (Ver.)		ファームウェア バージョン (Ver.)			ファームウェア バージョン (Ver.)		
		3.00 ～		1.00 ～ 1.99	2.00 ～ 2.99	3.00 ～	1.00 ～ 1.99	2.00 ～ 2.99	3.00 ～
FDX-08									
ファームウェア バージョン (Ver.)	3.00 ～	○	×	×	○	×	×	○	

【記号】 ○ : 対応、× : 非対応

※FDX-08 は FDX-64 との互換性はありません。

[表 3.5] バックアップとリストアの製品互換表 (バックアップ対象 : FDX-16)

リストア対象 FDX-16		FDX-08	FDX-16			FDX-32		
		ファームウェア バージョン (Ver.)	ファームウェア バージョン (Ver.)			ファームウェア バージョン (Ver.)		
		3.00 ～	1.00 ～ 1.99	2.00 ～ 2.99	3.00 ～	1.00 ～ 1.99	2.00 ～ 2.99	3.00 ～
ファーム ウェア バージョン (Ver.)	1.00 ～ 1.99	○	○	○	○	○	○	○
	2.00 ～ 2.99	○	×	○	○	×	○	○
	3.00 ～	○	×	×	○	×	×	○

【記号】 ○ : 対応、× : 非対応

※FDX-16 は FDX-64 との互換性はありません。

[表 3.6] バックアップとリストアの製品互換表 (バックアップ対象 : FDX-32)

リストア対象 FDX-32		FDX-08	FDX-16			FDX-32		
		ファームウェア バージョン (Ver.)	ファームウェア バージョン (Ver.)			ファームウェア バージョン (Ver.)		
		3.00 ～	1.00 ～ 1.99	2.00 ～ 2.99	3.00 ～	1.00 ～ 1.99	2.00 ～ 2.99	3.00 ～
ファーム ウェア バージョン (Ver.)	1.00 ～ 1.99	○	○	○	○	○ ◎	○ ◎	○ ◎
	2.00 ～ 2.99	○	×	○	○	×	○ ◎	○ ◎
	3.00 ～	○	×	×	○	×	×	○ ◎

【記号】 ○ : 対応、× : 非対応

◎ : 電源二重化 (オプション) 対応の FDX-32 同士で対応

※FDX-32 は FDX-64 との互換性はありません。

[表 3.7] バックアップとリストアの製品互換表 (バックアップ対象 : FDX-64)

リストア対象 FDX-64		FDX-64	
		ファームウェア バージョン (Ver.)	
		1.00 ～ 1.99	3.00 ～
ファーム ウェア バージョン (Ver.)	1.00 ～ 1.99	○ ◎	×
	3.00 ～	×	○ ◎

【記号】 ○ : 対応、× : 非対応

◎ : 電源二重化 (オプション) 対応の FDX-64 同士で対応

※FDX-64 は FDX-08 / 16 / 32 との互換性はありません。

[表 3.8] バックアップとリストアの製品互換表 (FDX-12UHD / 32UHD)

リストア対象 バックアップ対象	FDX-12UHD	FDX-32UHD
FDX-12UHD	○	×
FDX-32UHD	○	○

【記号】 ○ : 対応、× : 非対応

[表 3.9] バックアップとリストアの製品互換表 (FDX-S Series)

リストア対象 バックアップ対象	FDX-S16	FDX-S16U	FDX-S32	FDX-S32U	FDX-S08	FDX-S08U	FDX-S64
FDX-S08	○	○	○	○	○	○	○
FDX-S08U	○	○	○	○	○	○	○
FDX-S16	○	○	○	○	○	○	○
FDX-S16U	○	○	○	○	○	○	○
FDX-S32	○	○	○	○	○	○	○
FDX-S32U	○	○	○	○	○	○	○
FDX-S64	○	○	○	○	○	○	○

【記号】 ○ : 対応、× : 非対応

- 【注意】
- FDX-12UHD と FDX-32UHD、FDX-08、FDX-16、FDX-32 および FDX-64、FDX-S Series 間の互換性はありません。
 - FDX Series のファームウェアバージョンは、**4.7 本ソフトウェアと FDX Series のバージョンを表示する (P.42)** をご参照ください。
 - バックアップデータをスロットボードの構成が異なる FDX Series にリストアする場合は、リストア完了後にボードごとに設定内容を再確認してください。
 - リストア後は、FDX Series を再起動してください。

3.7 FDX Series のステータス状態の確認

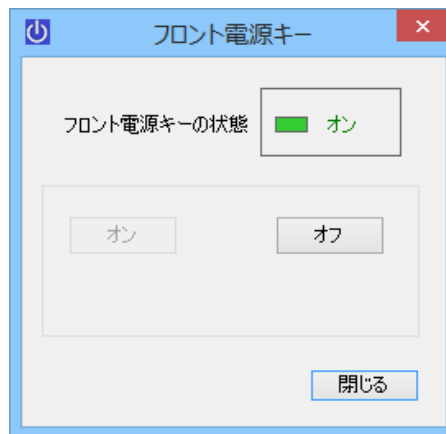
FDX Series のフロント電源キーのオン / オフと、入力信号、モニタ、入出力スロットボード、冷却ファンおよび電圧などのステータス状態を確認することができます。

3.7.1 FDX Series の電源をオン / オフする

メニュー [メンテナンス] メニュー → [フロント電源キー]

設定内容 FDX Series の電源をオン / オフします。

[オン] ボタンまたは [オフ] ボタン選択後、メッセージに従い操作してください。



[図 3.22] [フロント電源キー] ダイアログボックス

【注意】フロント電源キーは、FDX-32 と FDX-64 のみ操作できます。

3.7.2 FDX Series のステータスを表示する

メニュー [メンテナンス] メニュー → [ステータス]

取得内容 次のステータスを表示します。

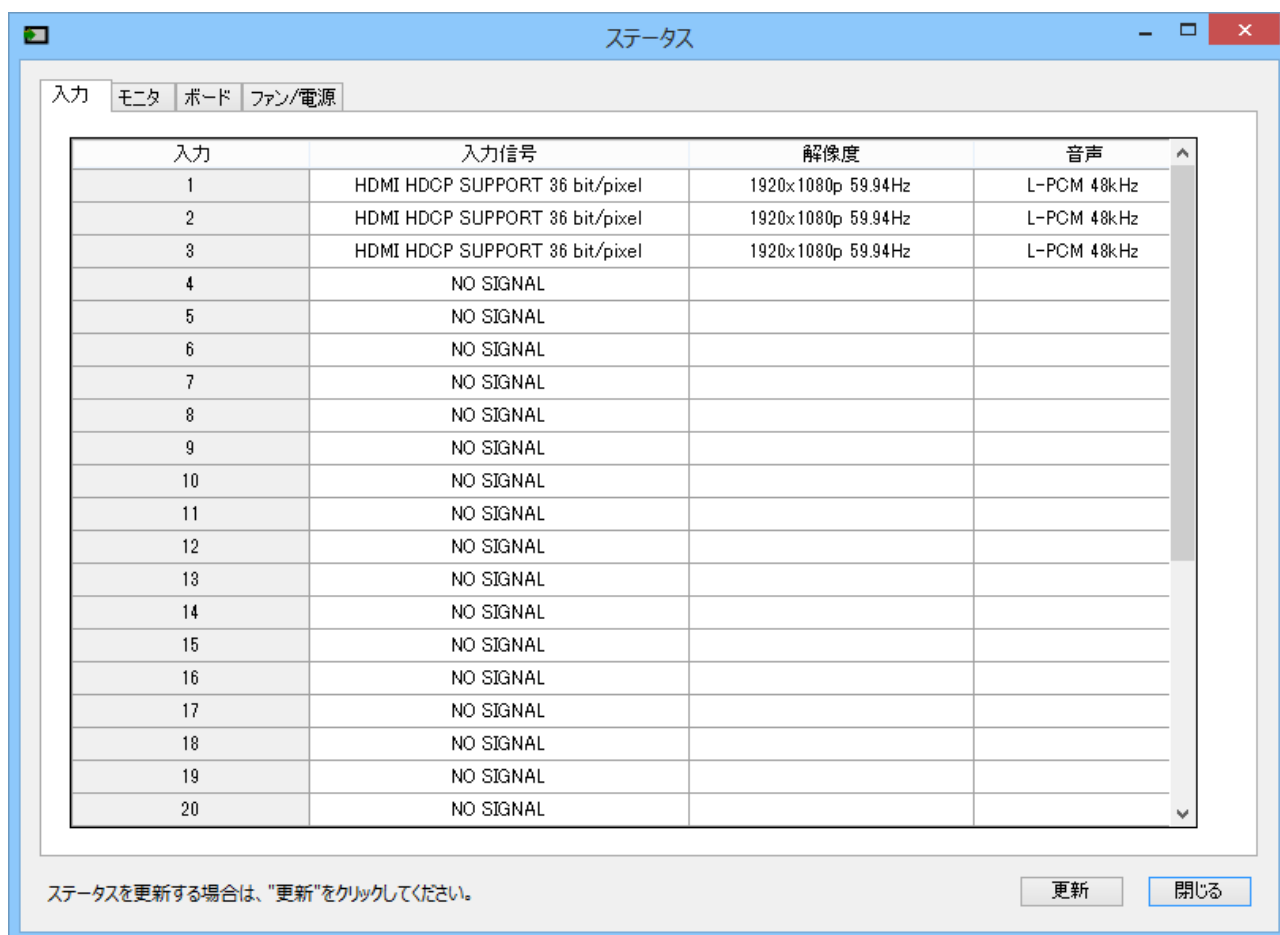
- ・ 入力信号、解像度および音声
- ・ モニタの接続状態と HDCP 対応の有無
- ・ 入出力スロットボードの電源電圧状態と温度
- ・ オーディオボードの電源電圧状態と温度状態
- ・ 冷却ファンの回転数と電圧状態

[ステータス] ダイアログボックスのステータス表示は、約 1 秒単位で自動更新されます。

なお、FDX Series ファームウェアバージョンが Ver.2.00 以前の場合、[入力] と [モニタ] のステータス表示は 1 チャンネルごとに約 1 秒単位で自動更新されます。

[更新] ボタンを選択すると、自動更新時間を待つことなく画面の表示内容が更新されます。

【参照：4.7 本ソフトウェアと FDX Series のバージョンを表示する (P.42)】



【図 3.23】 [ステータス] ダイアログボックス

【注意】 電源数とファン数は、機種により異なります。詳しくは、製品の取扱説明書をご覧ください。

4 本ソフトウェアの設定およびその他の設定

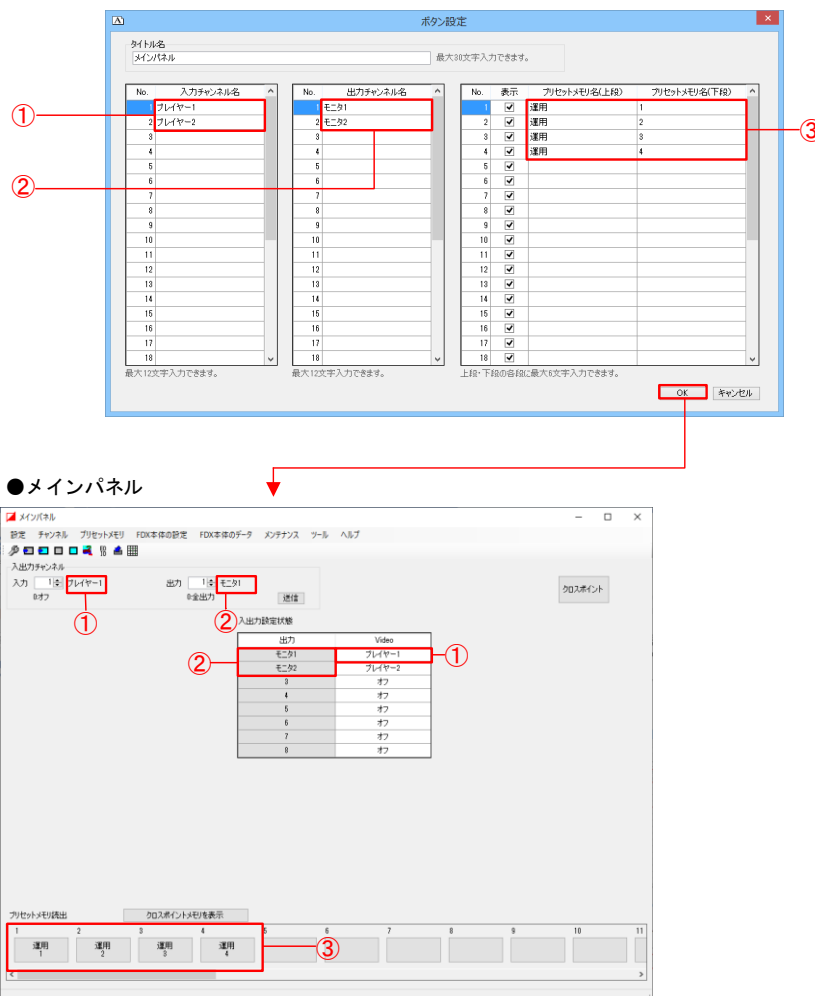
ここでは、本ソフトウェア上の設定を行うことができます。FDX Series への影響はありません。
本ソフトウェア上の設定内容を下記に記します。

- ・ メインパネルのタイトル名、入力チャンネル名、出力チャンネル名、 [プリセットメモリ読出] ボタンの表示と名前設定
- ・ 各種メニュー (表示・非表示) の設定
- ・ パスワードの設定
- ・ 本ソフトウェアの設定ファイル共有設定
- ・ 本ソフトウェアの設定ファイル初期化

4.1 各種名称を設定する

メニュー [ツール] メニュー → [ボタン設定]

設定内容 メインパネルのタイトル名、入力チャンネル名、出力チャンネル名、 [プリセットメモリ読出] ボタンの表示と名前を設定します。
設定内容は、 [OK] ボタンを選択したときに反映されます。

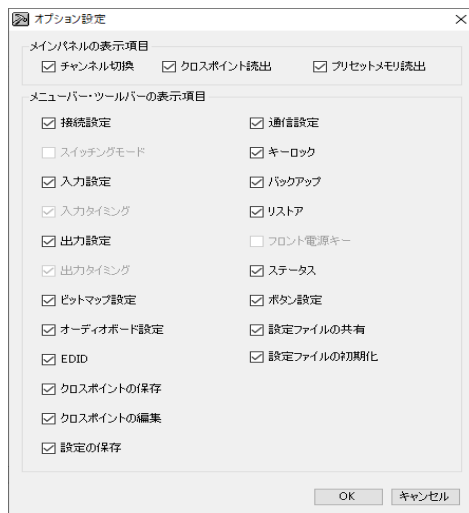


[図 4.1] [ボタン設定] ダイアログボックス

4.2 メインパネル / メニューバー・ツールバーの表示項目を設定する

メニュー [ツール] メニュー → [オプション設定]

設定内容 メインパネルの表示項目、メニューバー・ツールバーの表示項目を設定します。
設定内容は、[OK] ボタンを選択したときに反映されます。



[図 4.2] [オプション設定] ダイアログボックス

[表 4.1] オプション設定の初期値

●メインパネルの表示項目

チェックボックス名	初期値	チェックボックス名	初期値
チャンネル切換	有効	クロスポイント読出	有効
プリセットメモリ読出	有効		

●メニューバー・ツールバーの表示項目

チェックボックス名	初期値	チェックボックス名	初期値
接続設定	有効	通信設定	有効
スイッチングモード	無効※1	キーロック	有効
入力設定	有効	バックアップ	有効
入力タイミグ	有効※2	リストア	有効
出力設定	有効	フロント電源キー	有効※3
出力タイミグ	有効※2	ステータス	有効
ビットマップ設定	有効	ボタン設定	有効
EDID	有効	設定ファイルの共有	有効
オーディオボード設定	有効※4	設定ファイルの初期化	有効
クロスポイントの保存	有効		
クロスポイントの編集	有効		
設定の保存	有効		

※1 スイッチングモードは、FDX-S Series では操作できません。

※2 入力タイミグと出力タイミグは、FDX 本体にスキャンコンバータ出力スロットボードが装着されている場合のみ設定できます。

※3 フロント電源キーは、FDX-32 と FDX-64 のみ操作できます。

※4 オーディオボード設定は、FDX-S 本体にオーディオボードが装着されている場合のみ設定できます。

4.3 設定ファイルを共有する

メニュー [ツール] メニュー → [設定ファイルの共有]

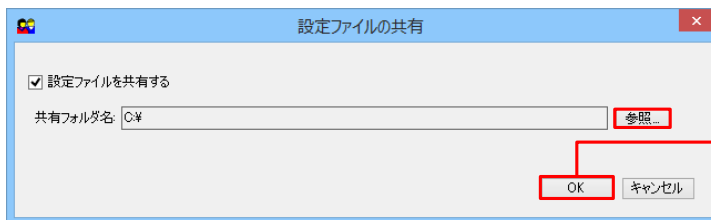
設定内容 設定ファイルの保存場所を指定します。保存場所を指定すると、指定された場所に本ソフトウェアの設定が自動で保存されます。また指定したフォルダに別の環境で作成した設定ファイルを置くことで、ファイルを読み込み、設定を共有することができます。

設定内容は、[OK] ボタンを選択したときに反映されます。メッセージに従い操作してください。

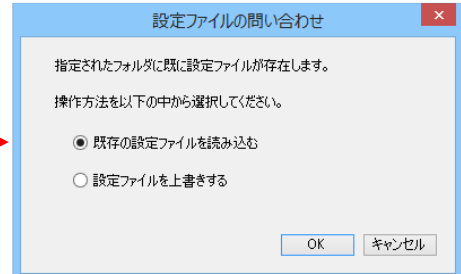
[表 4.2] 設定ファイル (FDXConf.txt) に保存される内容

メニュー	共有情報
設定	接続設定、ボタン設定
ツール	オプション設定

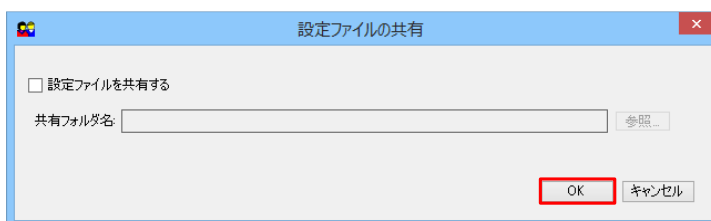
●共有する



●既存ファイルが存在する場合



●共有しない



[図 4.3] [設定ファイルの共有] ダイアログボックス

【注意】 指定された[共有フォルダ名]に既に設定ファイルが存在する場合、ファイルから設定を読み込むか、現在の設定をファイルに上書きするかを選択します。上書きを選択すると現在ファイルに記録されている設定内容は破棄され、本ソフトウェアで設定した値に上書きされます。

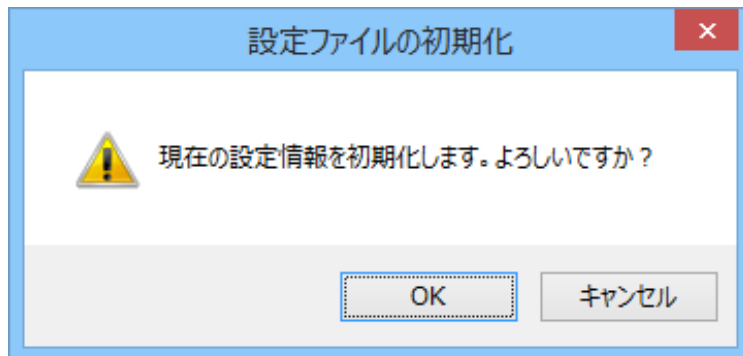
【参考】 本ソフトウェアをアンインストールしても、設定ファイルは削除されません。

4.4 本ソフトウェアで設定したメニューの値を初期化する

メニュー [ツール] メニュー → [設定ファイルの初期化]

設定内容 本ソフトウェアで設定したメニューの値を初期化します。

[OK] ボタンを選択すると、初期化されます。



【図 4.4】 [設定ファイルの初期化] ダイアログボックス

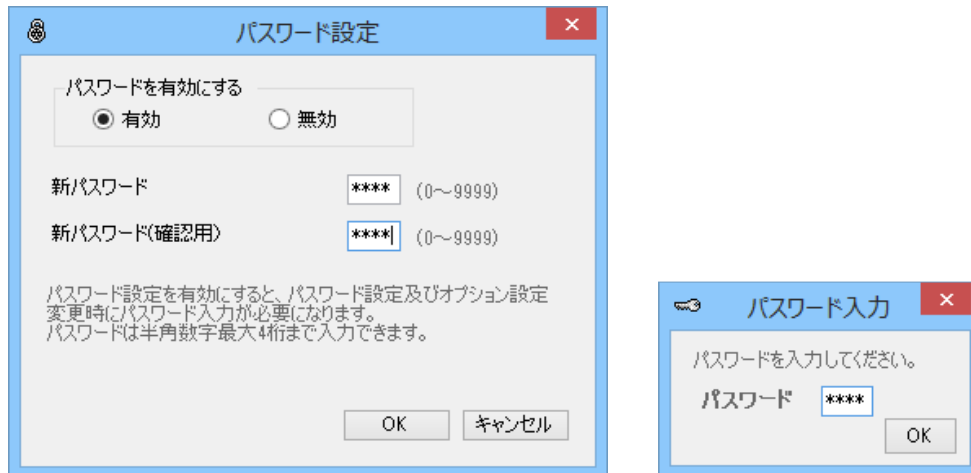
【表 4.3】 メニューの初期値

メニュー		初期値		参照 ページ
設定	ボタン設定	タイトル名	メインパネル	37
		名前	なし	
		表示	チェックあり	
ツール	オプション設定	メインパネルの 表示項目	全項目チェックあり	38
		メニューバー・ ツールバーの表示項目	全項目チェックあり (ただし、スイッチングモードは除く)	
	設定ファイルの共有	共有なし		39

4.5 メニューの表示にパスワードを設ける

メニュー [ツール] メニュー → [パスワード設定]

設定内容 半角数字最大4桁までのパスワードを設定することで、下の表のメニュー項目に、認証機能を設けることができます。設定内容は、[OK] ボタンを選択したときに反映されます。



【図 4.5】 [パスワード設定] と [パスワード入力] のダイアログボックス

【表 4.4】 パスワード適用範囲

	パスワード
オプション設定	○
パスワード設定	○

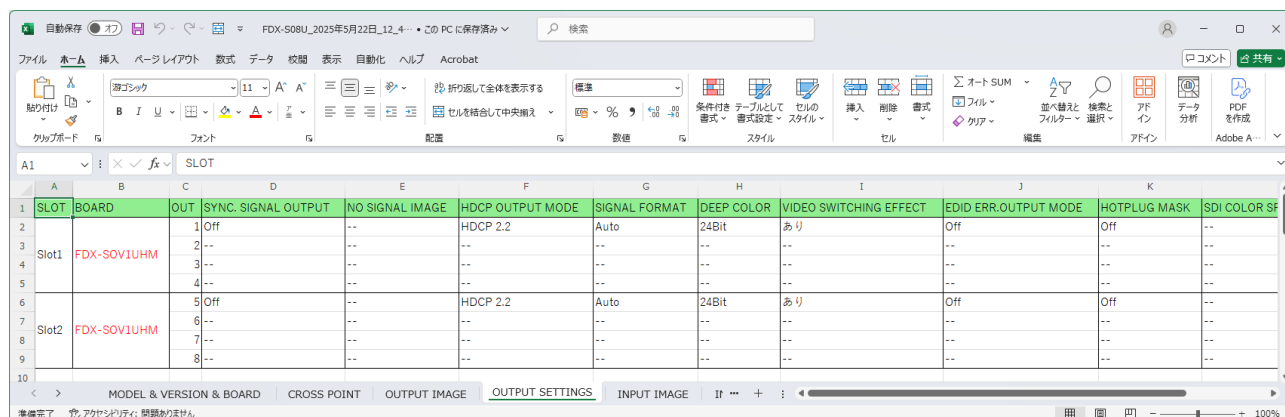
【記号】 ○ : 適用

【注意】 パスワードを忘れた場合は調べることができませんのでご注意ください。

4.6 FDX-Series の設定内容を Excel ファイルに出力する

メニュー [FDX 本体のデータ] メニュー → [エクスポート]

設定内容 FDX Series の設定内容を Excel ファイルに出力します。

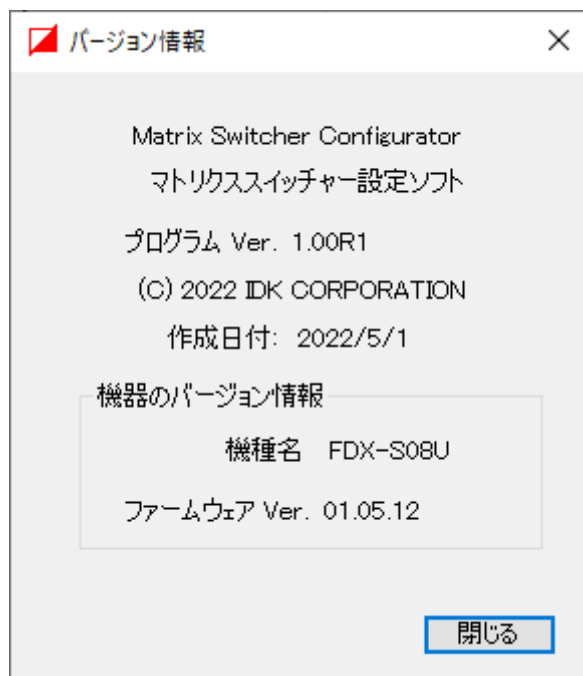


[図 4.6] Excel ファイル

4.7 本ソフトウェアと FDX Series のバージョンを表示する

メニュー [ヘルプ] メニュー → [バージョン情報]

設定内容 ソフトウェアバージョンと、FDX Series ファームウェアバージョンを表示します。



[図 4.7] [バージョン情報] ダイアログボックス

Matrix Switcher Configurator 取扱説明書

Ver.1.2.0

発行日 2025 年 06 月 30 日



株式会社 アイ・ディ・ケイ

本 社 〒242-0021 神奈川県大和市中央 7-9-1
TEL (046) 200-0764 FAX (046) 200-0765

関西営業所 〒564-0063 大阪府吹田市江坂町 1-23-5 大同生命江坂第 2 ビル 5 階
TEL (06) 6192-0764 FAX (06) 6192-0906

九州営業所 〒812-0011 福岡県福岡市博多区博多駅前 4-9-2 八百治センタービル 3 階
TEL (092) 431-0764 FAX (092) 431-0906

E メールアドレス info@idk.co.jp ホームページ www.idk.co.jp